



学術研究における

クラウドストレージの活用とRDM連携

Dropbox Japan 株式会社
ソリューションアーキテクト
保坂大輔

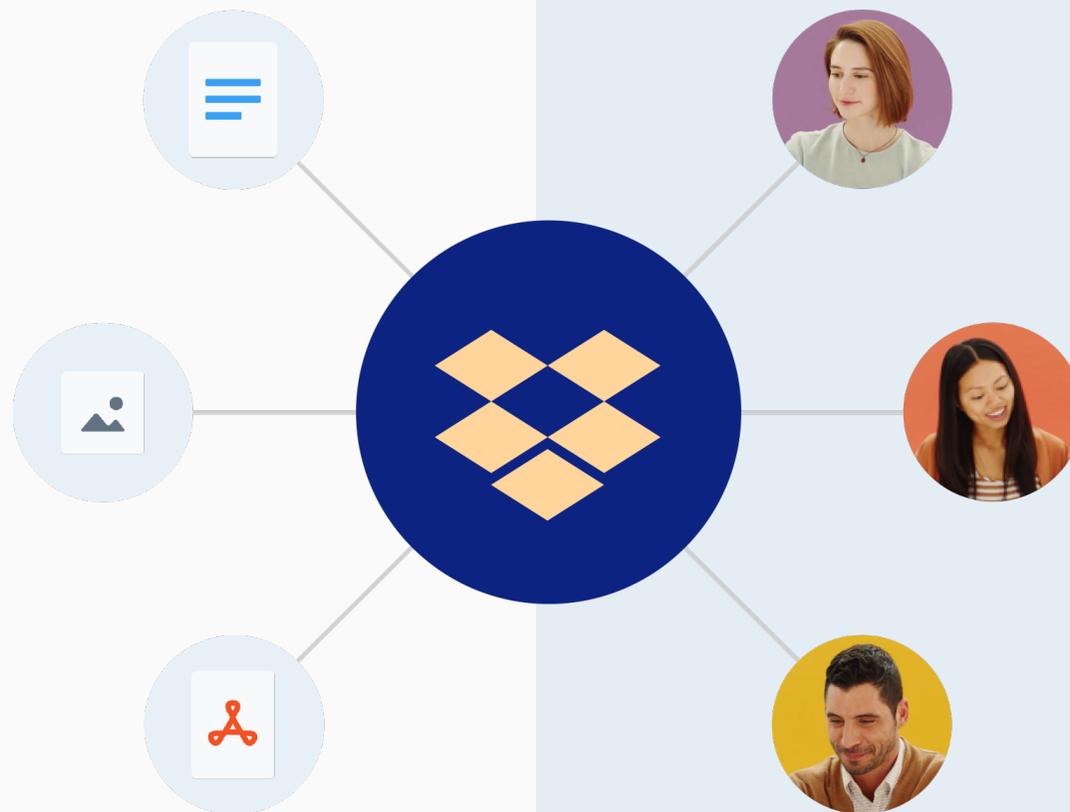
ファイルの同期



チームの同期

クラウドストレージ 2007 (創業当時)

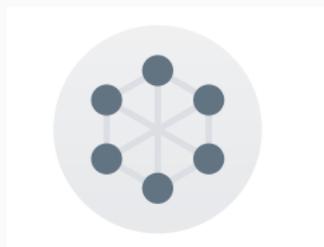
- バックアップと同期
- 写真共有
- フォルダ共有



チームコラボレーション 現在

- コンテンツ管理
- コラボレーションアプリ
- セキュアな共有設定
- プロジェクト管理

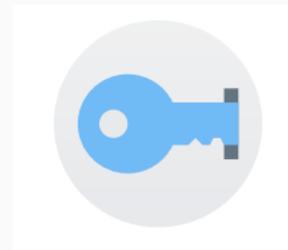
研究分野での活用と効果



ネットワーク効果



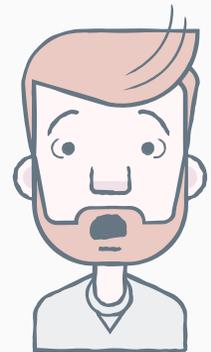
情報管理の容易さ



情報の保全と安全

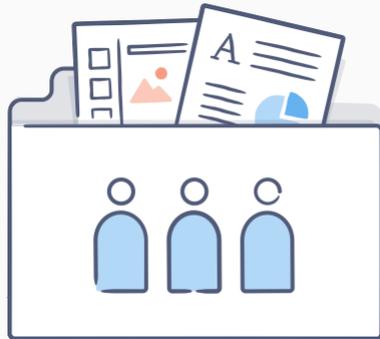
クラウドストレージ活用時の問題

1. 明示的なアップロード操作が必要な運用は成り立たない
2. 情報やコミュニケーションが散逸する



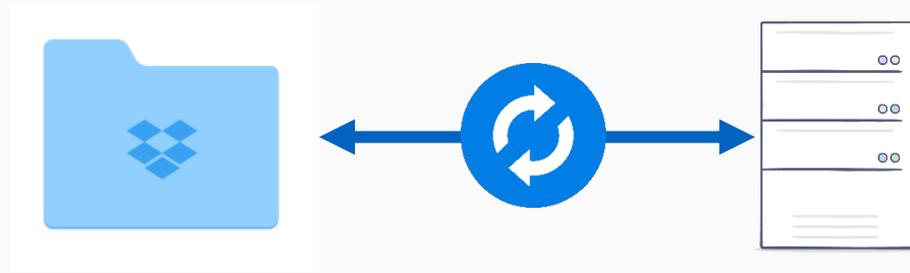
Dropboxを有効活用するアイデア

フォルダー = プロジェクト（タスク）



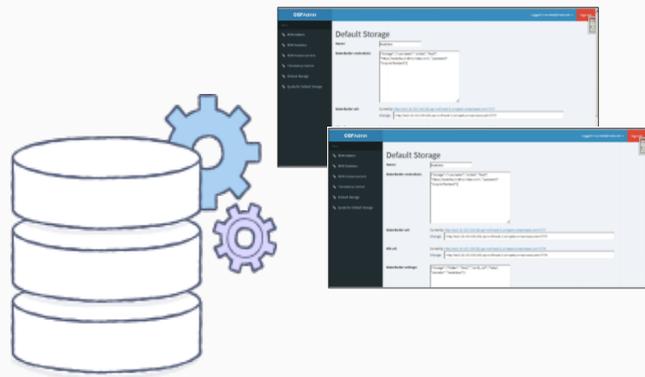
- クラウドとローカルで最新ファイルが自動的に同期
- 可能な限りフォルダー内で議論を進め、情報を集約する

RDMとの連携

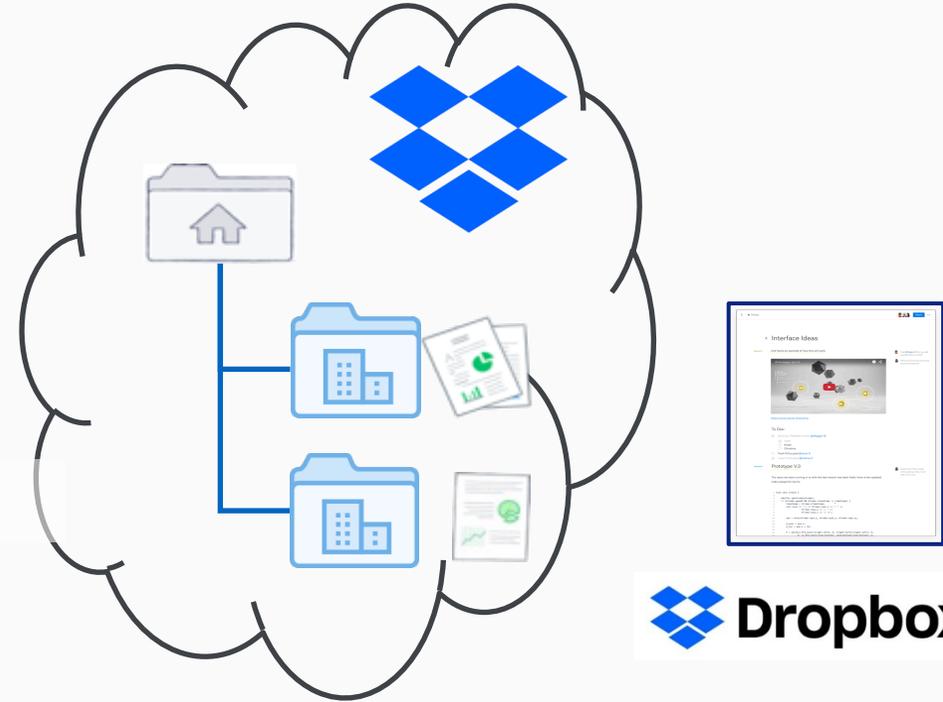


- **Dropbox**のフォルダを研究ドキュメント、資料、データの置き場所にして自動同期
- フォルダ内にあるファイルの全てのバージョンが**RDM**の管理対象

RDMとの連携 - ユーザーの操作



変更を相互に反映



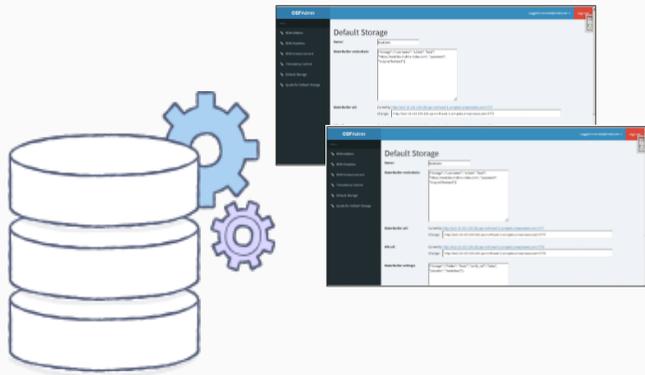
RDMでの操作：

- 権限管理
- ファイル/フォルダの閲覧
- フォルダの作成/削除
- ファイルのアップロード/ダウンロード/名前変更/削除

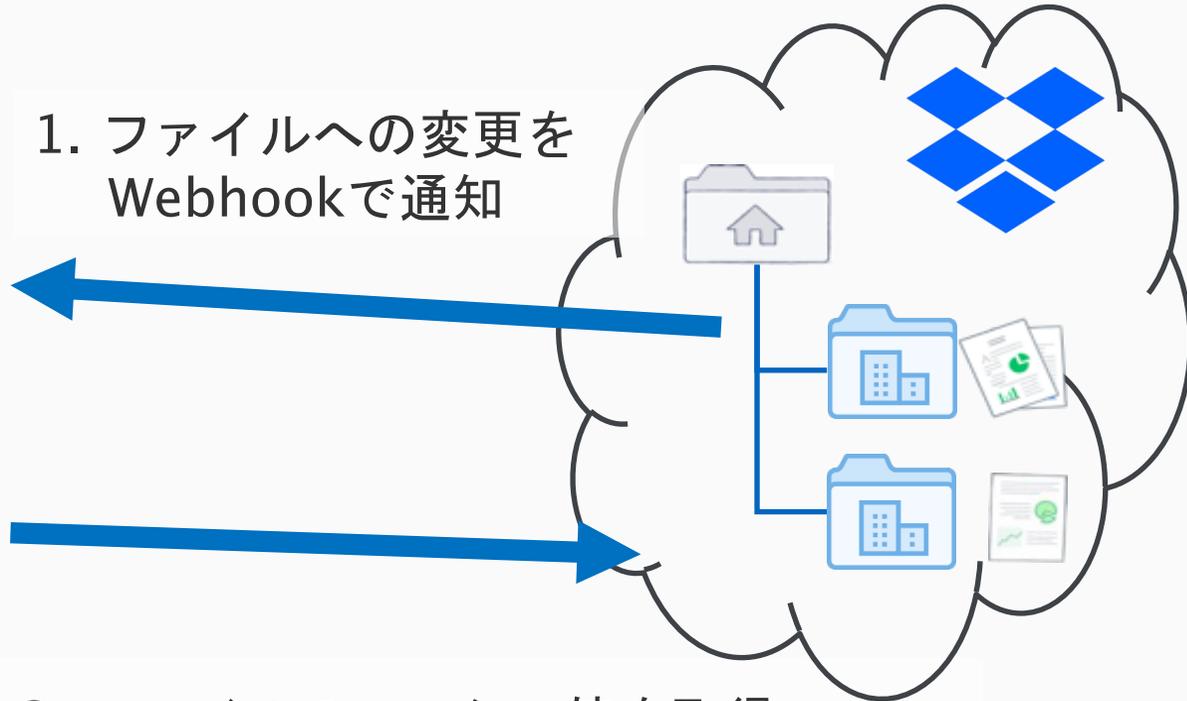
Dropboxでの操作：

- 論文などのドキュメント作成/編集
- 研究に使われる資料の保管
- 研究に関連する議論
 - ファイルへのコメント
 - Dropbox Paperの活用

GakuNin RDMとの連携 - 動作と実装



1. ファイルへの変更を
Webhookで通知



2. ファイルのハッシュ値を取得

4. タイムスタンプをDropbox上のファ
イルにメタ情報として保存

3. ハッシュ値を元にNII UPKI
サービスからタイムスタンプ
を取得

ご質問やお問い合わせを以下でうけたまわっています

大学/研究機関向けお問い合わせ窓口

japan-education@dropbox.com

